

議 会 を 知 る

みのかも 市議会 だより

2016.11.1

No.167

平成28年市議会 第3回定例会

平成27年度一般会計ほか
各会計決算を認定

〈決算審査〉

平成28年市議会 第1回臨時会

議会構成を決定
議長に森弓子議員
副議長に坂井知足議員

議会による事業評価を 実施、提言

〈事業評価 分科会(企画建設)〉

主 な 内 容

- ◆臨時会の審議結果…………… 2P
- ◆定例会の審議結果……… 3・4P
- ◆決算審査の概要…………… 5～7P
- ◆委員会審査の概要……… 7～8P
- ◆市政一般に対する質問と答弁
議会日誌…………… 9～16P
- ◆活動ピックアップ…………… 17P
- ◆お知らせ…………… 18P

〈事業評価 分科会(文教民生)〉

臨時会の審議結果

平成28年

第1回

臨時会

議長に森議員、
副議長に坂井議員
新体制決まる

10月20日に、市議会第1回臨時会を会期1日として開催しました。

補正予算の審議、正副議長の選挙、監査委員の選任、各常任委員会委員の選任などをを行い閉会しました。

新たに議長には、森弓子議員、副議長には、坂井知足議員が当選されました。

また、議会選出の監査委員については、新たに金井文敏議員が選任されました。

その他の議案、詳細は下記のとおりです。



議長
森 弓子



副議長
坂井 知足

このたびの臨時会におきまして、議長、副議長の要職に就任いたしました。身に余る光栄であると同時に、その責務の重さに改めて身の引き締まる思いでございます。

もとより微力ではございますが、市民の皆様、議員各位の格別なるご支援を賜り、更なる市政の発展、市民福祉の向上を目指して、公正かつ円滑な議会運営に誠心誠意努めてまいります。

市民の皆様のご力強いご支援、ご協力をお願い申し上げます。

議案の審議結果

議案番号	議案名	主な内容	結果
承第8号	専決処分の承認を求めることについて 平成28年度美濃加茂市一般会計補正予算(第4号)	890万の増額、予算総額は207億8,182万円6千円 台風災害による公共土木施設災害復旧費の増額補正	原案承認(全会一致)
議第63号	平成28年度美濃加茂市一般会計補正予算(第5号)	7,934万円の増額、予算総額は208億6,116万6千円 観光施設整備事業、かわまちづくり整備事業の増額補正	原案可決(全会一致)
議第64号	市議会委員会条例の一部を改正する条例	議会運営委員会の委員の定数を、7人以内とするもの	原案可決(全会一致)
議第65号	議長辞職の件	議長の辞職を許可するもの	許可(全会一致)
選第1号	議長の選挙	議長辞職に伴う選挙	森 弓子議員 当選
議第66号	副議長辞職の件	副議長の辞職を許可するもの	許可(全会一致)
選第2号	副議長の選挙	副議長辞職に伴う選挙	坂井知足議員 当選
議第67号	美濃加茂市監査委員の選任	監査委員の辞職に伴い、新たに金井文敏議員を選任することの同意	原案同意(全会一致)
選第3号	美濃加茂市・富加町中学校組合議会議員の選挙	組合議会議員の辞職に伴う選挙	森 弓子議員 坂井知足議員 村瀬正樹議員 当選

各委員会の構成

第1回臨時会において、各委員会の構成が下記のとおり変更されました。

議会運営委員会

委員長：山田 栄 副委員長：村瀬 正樹
渡辺 益巳 前田 孝 高井 厚

文教民生常任委員会

委員長：高井 厚 副委員長：牧田 秀憲
渡辺 益巳 森 弓子 村瀬 正樹 柘植 宏一 酒向 信幸 日置 祥子

企画建設常任委員会

委員長：片桐 美良 副委員長：渡辺 孝男
坂井 知足 前田 孝 金井 文敏 佐合 広和 山田 栄



議会選出監査委員
金井文敏議員

平成28年

第3回

定例会

平成27年度一般会計ほか 各会計決算を認定

市議会第3回定例会は、9月1日に開会し、27日までの会期27日間で開催しました。

初日は、26議案を上程し、契約の締結(議第60号)、人事案件(議第61・62号、諮第1～3号)については、提案説明・採決を行い、その他の議案については提案説明を行いました。また、決算認定議案については、監査報告が行われました。

8日、9日、12日は、代表質問を含め、14人の議員が一般質問を行いました。

13日には、各議案に対する質疑・委員会付託を行いました。

付託された各議案の審査のため、14日、15日に予算決算特別委員会、16日に文教民生常任委員会、20日に企画建設常任委員会を開催しました。

27日には、各議案に対する委員長報告・討論・採決を行い、閉会しました。

議案 クローズアップ

議第50号

美濃加茂市認定こども園の設置及び管理に関する条例

議案の概要

小学校就学前の子どもに対する教育・保育、並びに保護者に対する子育て支援のため、保育に欠ける子ども以外の子どもも受け入れる幼稚園的機能を備えた「保育所型認定こども園」として、来年4月から、現在の山之上保育園を認定子ども園としようとするもの。この条例制定により、名称は「山之上こども園」に変更され、3歳以上で、家庭で保育を受けることが可能である子どもについても、20人まで受け入れることが可能となる。



現在の山之上保育園



今年度の運動会の様子

議第60号

山手小南舎増築本体工事の請負契約の締結

議案の概要

山手小学校の南舎増築本体工事(普通教室棟の増築、パントリー(配膳室)棟の増築、渡り廊下増築、北舎内部改修及び外構工事)を行うもの。予定価格が1億5,000万円を超える契約であるため、条例により議会の議決が必要となる。

契約金額：5億2,380万円

請負者：DS TOKAI株式会社美濃加茂支店

工期予定：平成29年10月31日まで



校舎完成イメージ(左側が増築分)

定例会の審議結果

議案の審議結果

全会一致で承認・可決・認定された議案

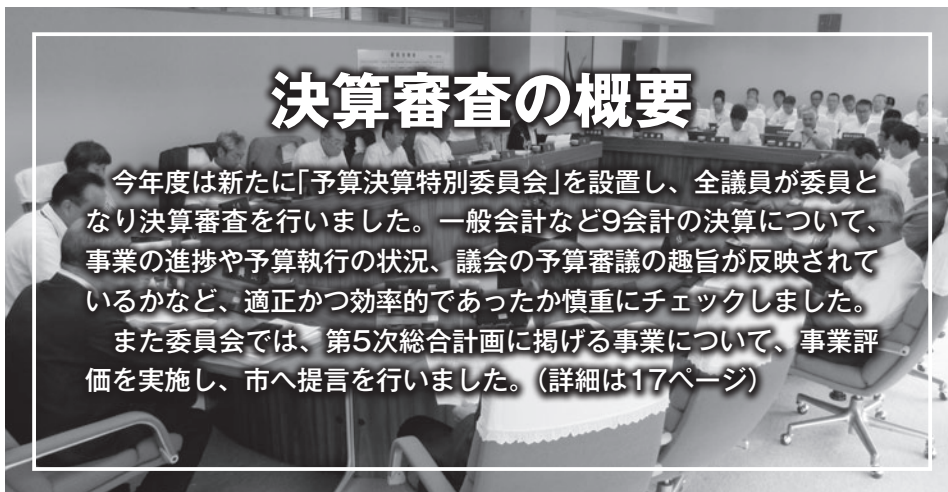
議案番号	議案名	主な内容
承第7号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	児童扶養手当法施行令の一部を改正する政令(平成28年政令第256号)の施行に伴う所要の改正
議第51号	美濃加茂市定住促進住宅の設置及び管理に関する条例	市営住宅の三和住宅の一部を、市への定住の促進を図るための住宅と位置付けるための条例制定
議第52号	美濃加茂市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	新庁舎整備基本構想の策定にあたり、美濃加茂市新庁舎整備基本構想策定委員会を市長の附属機関として位置付けるための条例改正
議第53号	美濃加茂市生涯学習施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	新加茂野交流センターの開館に伴い、完成後の部屋の規模等に合わせた使用料を設定するための条例改正
議第55号	平成28年度美濃加茂市国民健康保険会計補正予算(第1号)	9,904万7千円の増額、予算総額は66億354万7千円 システム改修、昨年度分の療養給付費等負担金超過額の返還、一般会計からの繰入額の返還等の増額補正
議第56号	平成28年度美濃加茂市介護保険会計補正予算(第1号)	保険事業勘定1億3,103万7千円の増額、予算総額38億7,152万9千円 介護サービス事業勘定 194万3千円の増額、予算総額613万円 介護給付費準備基金への積立、介護給付費負担金、地域支援事業交付金、一般会計への返還等の増額補正
議第57号	平成28年度美濃加茂市後期高齢者医療会計補正予算(第1号)	19万8千円の増額、予算総額は5億2,148万1千円 後期高齢者医療広域連合負担金の増額補正
議第58号	市道路線の廃止	市道中之番292号線ほか1路線の廃止
議第59号	市道路線の認定	市道中之番292号線ほか3路線の認定
議第60号	山手小南舎増築本体工事の請負契約の締結	条例の規定に基づき議会の議決に付すもの(詳細は3ページ)
議第61号	美濃加茂市教育委員会の教育長の任命	任期満了に伴う後任教育長の任命同意(日比野安平氏 再任)
議第62号	美濃加茂市教育委員会の委員の任命	任期満了に伴う後任委員の任命同意(渡邊博栄氏 新任)
諮第1号	人権擁護委員の候補者の推薦	任期満了に伴う後任委員の推薦(高井美穂榮氏 再任)
諮第2号	人権擁護委員の候補者の推薦	任期満了に伴う後任委員の推薦(佐光重廣氏 再任)
諮第3号	人権擁護委員の候補者の推薦	任期満了に伴う後任委員の推薦(東山多賀子氏 再任)
認第5号	平成27年度美濃加茂市介護認定・障がい者自立支援認定審査会会計歳入歳出決算認定	決算額は7ページに掲載
認第6号	平成27年度美濃加茂市古井財産区会計歳入歳出決算認定	
認第7号	平成27年度美濃加茂市市之上財産区会計歳入歳出決算認定	
認第8号	平成27年度美濃加茂市水道事業会計決算認定	
認第9号	平成27年度美濃加茂市下水道事業会計決算認定	

賛否の分かれた議案

【表示記号】	議決結果：◎…可決、認定 ×…否決、不認定 賛否状況：○…賛成 ×…反対 一…議長のため採決に加わらない	議案名	議案内容	議決結果	議員名															
					渡辺孝男	酒向信幸	日置祥子	牧田秀憲	坂井知足	村瀬正樹	渡辺益巳	高井厚	佐合広和	前田孝	金井文敏	柘植宏一	片桐美良	森弓子	山田栄	
議第50号	◎	美濃加茂市認定こども園の設置及び管理に関する条例	小学校就学前の子どもに対する教育及び保育並びに保護者に対する子育て支援を行う認定こども園を設置するため、新たに条例を制定するもの(詳細は3ページ)	◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-
議第54号	◎	平成28年度美濃加茂市一般会計補正予算(第3号)	10億3,258万5千円の増額、予算総額は207億7,292万6千円 財政調整基金への積立金、あい愛バス先行運行車両購入、急傾斜地崩壊対策事業の増額補正、新庁舎整備基本構想策定委託業務の繰越明許等	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-
認第1号	◎	平成27年度美濃加茂市一般会計歳入歳出決算認定		◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-
認第2号	◎	平成27年度美濃加茂市国民健康保険会計歳入歳出決算認定		◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-
認第3号	◎	平成27年度美濃加茂市介護保険会計歳入歳出決算認定		◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-
認第4号	◎	平成27年度美濃加茂市後期高齢者医療会計歳入歳出決算認定		◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-

※認第1号から第4号までの決算額は6・7ページに掲載

決算審査の概要



決算審査の概要

今年度は新たに「予算決算特別委員会」を設置し、全議員が委員となり決算審査を行いました。一般会計など9会計の決算について、事業の進捗や予算執行の状況、議会の予算審議の趣旨が反映されているかなど、適正かつ効率的であったか慎重にチェックしました。また委員会では、第5次総合計画に掲げる事業について、事業評価を実施し、市へ提言を行いました。（詳細は17ページ）

〈一般会計〉

問 法人市民税及び固定資産税と企業への奨励金との関係は。

答 法人市民税は、企業への奨励金との関連性はない。固定資産税は、固定資産税相当額を限度とする誘致企業への奨励金があるため、固定資

産税の歳入決算額から誘致企業への奨励金を引いた額が、実質的な固定資産税の収入となる。

問 企業からの固定資産税の将来的見込みは。

答 固定資産の償却に対し、増築増設等もあるため、将来的には微増になると見込んでいる。

問 市税の収入未済を改善する取り組みと今後の方針は。

答 差し押さえを中心として取り組んでおり、収入未済額は徐々に削減されてきた。滞納者の財産調査等、調査を進め滞納額削減に努力したい。

問 市営住宅の家賃滞納の状況や連帯保証人への請求は。

答 昨年度、連帯保証人が納付した案件はないが、今後は、連帯保証人へも未納があることを十分示して収納を促していく。

問 ふるさと納税額と基金の積立額は。

答 基金の性質上、3月末日に寄付額を確定させたものに、経費を見込んで、その残額を積み立てた。その後、経費については、出納整理期間中に確定したが、見込みを下回ったため、差額を一般財源として今年度に繰り越し、基金への積み増しを行った。今後は、出納整理期間を活用し、基金へ積み立て、当該年度中に確定させたい。

問 (仮)総合医療センター用地造成事業について、弁護士との顧問契

約の内容、金額の根拠は。

答 平成25年度から3人の弁護士と契約している。契約委託料は、他市の状況を確認した上で、弁護士と協議して定めている。

問 まちづくり協議会に対する交付金の状況は。

答 各地区協議会に、まちづくり活動交付金として、概ね20万円を交付しているほか、協議会の自主活動に要する経費として、「みんなのまる」活動交付金がある。予算上は、各協議会に100万円を計上しているが、これを超える申請があった場合は、活動内容を精査し、協議会と協議の上判断している。

問 総合福祉会館の支出において、光熱水費の割合が大きい理由は。

答 併設するデイサービスセンターを運営する法人から、光熱水費の約24%が得られるため、適正と考えている。併せて、社会福祉協議会の決算も確認しており、電気代の整合性はある。

問 臨時福祉給付金について、対象者への申請勧奨は行われたか。

答 申請は、対象の約90%の方が行われた。対象者への通知は、8月に行い、その後はホームページや広報などで周知した。未申請の方への再通知や、9月以降に対象となる可能性が発生した方への郵便による通知はしていない。なお、今年1月4日

で受け付けは終了したため、以降の申請はできない。

問 シルバー人材センター助成事業の費用対効果は。

答 昨年度は393人の会員があり、就業人員は340人であった。就労による収入獲得、生きがいや介護予防にもつながることから、高齢者が元気に自立した生活を送るという面で効果があると考えている。

問 生活保護世帯数の動向と今後の見通しは。

答 昨年度末現在106世帯で、世帯数は、一昨年より増加し、生活困窮相談等も増加している。生活保護受給者に対しては、定期訪問による現状確認、収入状況の把握や巡回等を行い、不正受給がないようにしているが、強引な扶助費削減や保護の打ち切り等はない。

問 可茂衛生施設利用組合の決算及び事業実施状況は。

答 負担金は、可燃物処理費が減少したことや、最終処分場の第2期建設工事費負担が終了したことで減少している。し尿処理費の増加は、可児市内で一斉に公共下水道に切り替えがあったため、組合に加入している本市の負担も増えたことによる。また、可茂聖苑火葬場の建て替えについては、現在、測量と境界立ち合いを行っており、平成31年度の供用開始に向けて進めている。

決算審査の概要

問 みのかも健康の森について、イギリス製の薪ストーブを購入した理由は。また、園内の遊具整備の予定は。

答 ストーブは、日本より厳しい排煙基準に適合しており、国産とほぼ同等の価格であったためである。遊具は、市の単独予算でローラー滑り台の修理を行う予定であったが、国の交付金が活用できる可能性があることがわかったため、遊具全般の見直しを行うこととした。交付金を利用してより多くの遊具を整備したい。



イギリス製薪ストーブ

問 名古屋交流拠点事業の委託先と実績に対する評価は。

答 委託先は、日本イベント企画(株)である。ターゲット等に関する基礎調査に基づき、名古屋市の商業施設でのイベントを実施した。その結果、名古屋地域に向けての情報発

信及び本市と加茂郡町村のPR等は、女性や若者向けに行うことが一番有効であろうと評価している。

問 姫BIZ戦略事業の女性起業支援補助金の実績と今年度の状況は。

答 昨年度は280件の相談に対し、採用は1件であった。今年度は、2件の交付を決定している。

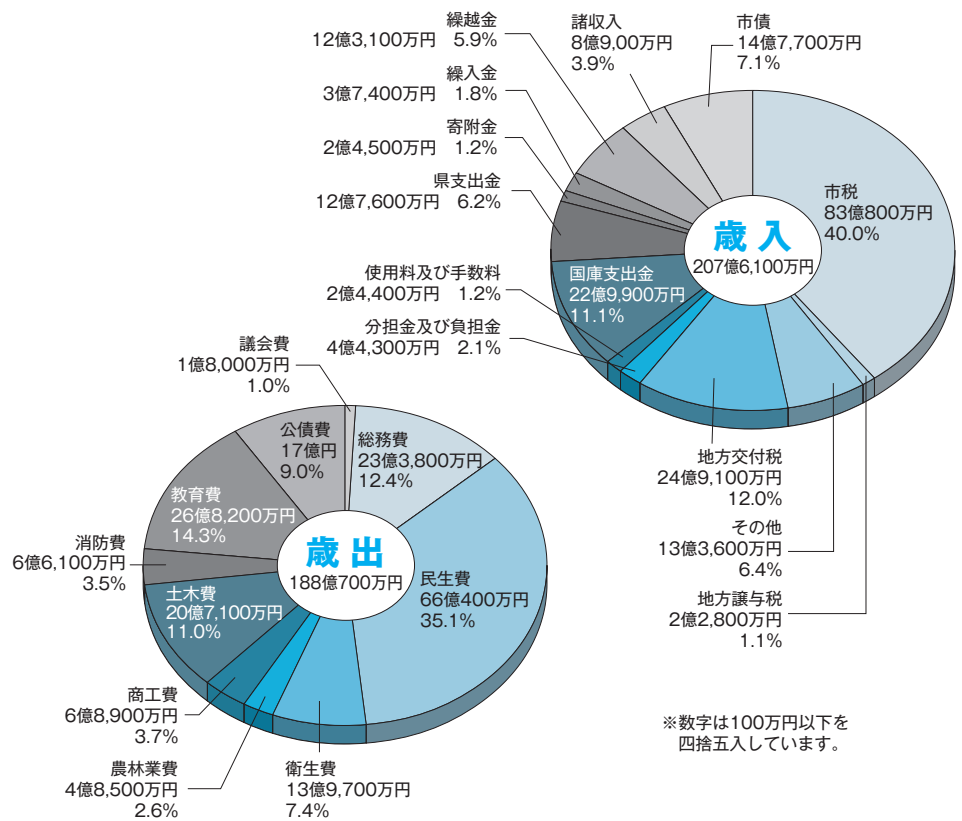
問 建築物耐震化促進事業の推進状況は。

答 これまでにローラー作戦を行い、約1,200軒に啓発をしてきたが、なかなか実績が上がっていない。ホームページ等でのPRも行いながら、引き続き行っていく。また、建築業界の方々と相談していきたい。

問 加茂野交流センター工事の進捗状況は。

答 工事は、既設の杭を撤去した後、の穴の埋め戻し作業や基礎杭を新規に打ち込むための大型クレーンの足場の地盤改良が必要となったこと等により、当初予定より延期している。9月末日までの契約としていたが、先般、工事の延長願が提出されて11月11日を工期とした。ただし、工期延長に伴う工事費用の加算や12月11日オープン予定に変更はない。作業を急ぎ、施設としての機能を損なうことがないようにして、安全な施工と今後の防災拠点となり得るような建設に努める。

平成27年度 一般会計の決算状況



《国民健康保険会計》
問 国民健康保険が都道府県単位の移行した後の繰入金の見通しは。

答 法定内繰入れについては、広域化されても同様に継続するものと考えている。

問 医療分の保険料と医療費の関係は。

答 医療分の保険料は、県内各市と

比較して低いほうではない。医療費は、県内各市と比較して最低である。医療費が低いのに保険料が高い要因は、本市の前期高齢者が少ないため交付金が少ないことなどによる。

問 保険料率が、平成23年度から据え置き理由は。また、条例に定める保険料の所得割・資産割・均等割・平等割の比率の遵守は。

決算審査の概要

〔答〕 据え置きは、被保険者の負担を抑えるためのものである。条例に定めた比率は守られている。

《介護保険会計》

〔問〕 軽度認知障害のスクリーニング事業(MC)の内容は。

〔答〕 昨年度の受検者数147人のうち、疑いのある方が74人あったため、保健師が訪問し直接指導に当たった。その後も、すこやか教室に38人、脳の健康講座に17人の参加があった。受検者には、訪問後もフォローを行っている。

《下水道事業会計》

〔問〕 農業集落排水

事業収入の減少傾向の理由と今後の事業予定は。

〔答〕 節水型トイレの普及や核家族化が収入減少の理由と考えている。農業集落排水事業は、その区域にある既存の宅地の汚水処理を目的としているので、計画区域外は、補助金を利用して、合併浄化槽を設置している。今後の農業

平成27年度歳入歳出決算額

一般会計		財産区会計	
歳入	207億6,063万6,677円	古井財産区	
歳出	188億 650万5,891円	歳入	130万6,271円
		歳出	84万 568円
国民健康保険会計		山之上財産区	
歳入	62億4,069万7,689円	歳入	116万2,177円
歳出	60億5,673万 427円	歳出	85万 426円
介護保険会計		水道事業会計	
保険事業勘定		収益的収支	
歳入	35億2,840万9,213円	収入	15億5,467万 471円
歳出	33億8,729万5,922円	支出	13億1,531万5,846円
介護サービス事業勘定		資本的収支	
歳入	535万3,320円	収入	1億1,627万8,484円
歳出	341万1,300円	支出	4億6,772万4,036円
後期高齢者医療会計		下水道事業会計	
歳入	5億1,377万7,932円	収益的収支	
歳出	4億8,467万6,248円	収入	23億8,617万9,456円
介護認定・障がい者自立支援認定審査会計		支出	22億7,366万4,730円
歳入	3,695万3,671円	資本的収支	
歳出	3,308万8,271円	収入	8億9,723万1,890円
		支出	14億6,607万4,461円

集落排水については、蜂屋川クリーンセンターが流域下水道への統合も考えていきたい。

〔問〕 会計全体に共通して、委託費の増加に懸念を抱いている。業者の提示に追従するのではなく、更なる見極めが必要ではないか。

〔答〕 職員が事業内容について知識を蓄え、判断する力を養っていかねばならない。

委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。

文教民生常任委員会

《認定こども園の設置及び管理に関する条例》

〔問〕 定員70人のうち20人が1号認定となるが、認定区分でクラスを分ける等の変更は生じるのか。

〔答〕 これまでと同様に対応する。

〔問〕 本条例に伴い「保育園の設置及び管理に関する条例」は改正されるのか。

〔答〕 一部改正が必要となるため、次の議会で提案できるよう手続きを進めている。

〔問〕 民間保育園から認定こども園化したといった相談はあるか。

〔答〕 1園から相談を受けている。
〔問〕 未満児保育における今後の体制整備は。

〔答〕 保育園の建て替え時に体制整備する。また、民間事業者にも未満児保育対応をお願いしたい。

《生涯学習施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正》

〔問〕 加茂野交流センター施設を学童

保育に活用する考えは。

〔答〕 特定の部屋を常時占有することは困難であるが、子どもたちの一時的居場所としての利用は可能である。

《平成28年度一般会計補正予算(第3号)》

〔問〕 バス路線対策事業について、あい愛バスの車両に広告を載せ、収入を得ることは可能か。

〔答〕 デザイン面を考慮し、今後検討していく。

〔問〕 長良川鉄道経営安定支援事業について、運営会社の安定経営のため、市の役割や働きかけは。

〔答〕 副市長・副町長と運営会社とで組織する経営安定対策委員会において、経営や施設整備の在り方を検討していきたい。また、経営形態のすべてを開示いただき、現在の負担金の在り方も検討が必要であると考えます。

〔問〕 小中学校の災害時非常食について、市内の高校等との連携は。

〔答〕 今後、情報を提供していきたい。
〔問〕 非常食が消費期限を迎える場合の取り扱い。

〔答〕 小中学校の防災避難訓練時に、

委員会審査の概要

給食の代わりとして活用する。

〔平成28年度介護保険会計補正予算(第1号)〕

〔介護予防支援事業費の増額理由は。〕

〔国保連合会からの予防給付費が見込みより余剰したためである。〕

企画建設常任委員会

〔定住促進住宅の設置及び管理に関する条例〕

〔住宅の家賃を月額2万6千円に設定した根拠は。〕

〔三和市営住宅の使用料の状況や岐阜県宅地建物取引業協会へ参考的な単価を確認したほか、まちづくり協議会へも相談し、金額を算出した。〕

〔連帯保証人について「特別な事情があると認める場合は、1人とすることができ」とあるが、どのような場合を想定しているか。〕

〔入居希望者の家族構成や状況により、1名しか連帯保証人を確保できない場合等が考えられる。〕

〔定住促進住宅をどのように周知していくのか。〕

〔市ホームページに、定住促進住宅のページを新たに設けるほか、移住定住に関するインターネットサイトや雑誌、団体への情報提供も考えている。〕



定住促進住宅

する考えは。

〔今後の市の将来を担っていく若い世代等、多くの市民から意見を伺えるような機会の設置を検討している。〕

〔今後の新庁舎建設の方針について、どのように意見を集約し、意思決定していくのか。〕

〔大きな事業になることは間違いないので、計画は他自治体の例なども参考にしながら、多くの議論を交わし、情報の公開を含め、しっかりと手順を踏み、市民理解が得られるよう推進していきたい。〕

〔平成28年度一般会計補正予算(第3号)〕

〔新庁舎整備基本構想策定委託業務が、来年度に繰越となった理由は。〕

〔建物等の物理的な調査を行うという内容自体に変更はないが、市議会でも、新庁舎建設特別委員会が設置される等、気運の高まりもみられ、今後、基本構想策定委員会や市民ワークショップを実施した際等で、より深い議論ができるようにするため、当初の予定より時間をかけ、来年度までの2カ年で業務ができるようにするためである。〕

〔学識経験者は、大学の先生等を検討しており、公共的団体等の代表者等は、幅広い意見が集められるよう、多種多様な団体を対象に選定していきたい。〕

〔同委員会のほかに、市民から意見を伺うワークショップ等を実施

議会を傍聴しました

今回の定例会を傍聴された方々からいただいたご意見を掲載します。
9月8日・9日・12日一般質問の日

・質問席が設けられて、議場内の雰囲気により緊張感が増し、傍聴者にとっては嬉しい。質問と答弁との対立ではなく、ともに市を良くしようという構図になったように思います。

・一問一答方式になり、より一層活発な議論がなされ、わかりやすくなった様に感じます。今まであまり興味のなかった内容も傍聴することで興味がわき、とても勉強になりました。

・緊張感のある応答が期待でき、大変よいと思います。反面、問題が細分化され、論点の対極を失う可能性もあります。

・他県より引越してきました。子供がいるので、幼・保・小・中・高などの市内施設の防犯対策や子育て支援等の取り組みがどのようにされているか、お話が聞けたらと思い傍聴しました。日ごろから地域住民の方々のパトロールもあり、安心なまちだとは思いますが、防犯の面ではまだ心配なところもありますので、より住みやすい安全なまちにしていきたいです。

市政一般に対する質問と答弁

14人の議員が登壇し、市政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。
(掲載順は質問を行った順番)

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、すべての質問と答弁はインターネットにて配信していますので、こちらもお覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。



■美濃加茂市議会 議会中継 <http://smart.discussvision.net/smart/minokamo/>

美濃加茂市議会 議会中継

検索



議会中継

■視聴方法

▶ トップページ ▶

▶ 会議名から選ぶ ▶

▶ 平成28年第3回定例会 ▶

▶ 9月8日、9日、12日 市政一般に対する質問

■会議録検索システム

<http://www.kaigiroku.net/kensaku/minokamo/menu.html>



村瀬 正樹 議員

今回の参議院議員選挙に
おける期日前投票

問 期日前投票は、投票所によって実施日数や時間数に違いがある。2つの大型商業施設も、買い物客に地域的な偏りが考えられるため、公平性での面で問題があると思うがどうか。また、市議会議員選挙では、大型商業施設での投票所開設はやめること、各交流センターについても、同一条件での実施をお願いしたいがどうか。

答 大型商業施設は、ある程度の集客が見込まれる施設として、有権者の利便性や投票率の向上を期待して2ヶ所で開設した。他の施設も検討したが、投票所のスペースや駐車場の広さが不十分で、開設できなかった。

各交流センターでは、通勤通学の方が投票しやすいよう、午後8時までの開設も実施した。全て同じ日数、時間数にすることは、職員配置の面や、交流センターの日常業務への支障などから、難しいと思われる。

あくまでも、当日選挙に行けない方のための期日前投票である。

今後この考えで実施したいと考えている。

ふるさと納税の現状と使途指定

問 執行部の努力により、昨年度本市への納税額は、県下2位であった。今年度の実績はどうか。また、使い道を納税者が指定できると聞いているが、市民が今「随時要望」対応を加えられるか。

答 今年4月から8月までに、3,021件、9,551万1千円の納税額をいただいた。昨年同時期と比べ、件数は2.72倍、納税額は3.76倍となり、今後も大きく伸びると期待している。また、企業版ふるさと納税については、国から里山再生事業が税制適用の認定を受けた。使い道は、市指定の5つの中から選択していただいており、「自治会要望」対応は、その中の「福祉を充実し、住みよいまちづくりを促進する事業」に該当するものと捉えているが、今後、十分検討していく。

◆企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)：企業を対象としたふるさと納税。市の地方創生に係る事業に対し、寄附をした企業に法人税等が控除される。

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



渡辺 孝男 議員

カミノーに位置づけられている5つの柱

問 各地区で地方創生市民懇談会を開催し、カミノーについて説明がなされた。市長も5つのライフステージの説明をされたが、今後の取り組みは。

答 9月から、女性活躍推進市民会議委員や市役所の女性職員が主体となって「カミノーワークショップ」の活動を開始する。懇談会でいただいたご意見に因應するためにも、このワークショップを通じ、市民と行政との具体的な協働事業について、しっかりと計画を進めていく。

問 「出会い・結婚 家族をつくる。」について、イベントを企画、開催とあるが、具体的に何を実施するのか。

答 今後、国の交付金の活用も含めて「出会い・結婚」分野の目標を実現するため、必要な施設整備等を行いたい。なお、結婚機運の醸成等を目的とした「ご当地婚姻届」については、11月からの利用に向けて、現在検討を進めている。また、可茂県事務所との共催で

「可茂地域の多彩な交流機会の創出事業」の開催も計画している。

長良川鉄道の今後

問 沿線自治体で負担金を軽減していく方法は。

答 鉄道の経営改善策は、以前から、副市長・副町長が構成員となっている「長良川鉄道経営安定対策委員会」などで協議し、現在、「安全輸送確保のための施設維持、更新計画」と「経営改善のための将来的な鉄道経営計画」を立案するため、調査内容を精査している。なお、調査期間は、およそ1年間を要する見込みであり、この中で、沿線市町を含め徹底的な議論をしていくことを提案している。

その他に、全国の先進的な事例を学び、最も長良川鉄道の実態に合致した効果的な経営改善を図っていくため、しっかりと研究し進めていきたい。



長良川鉄道



渡辺 益巳 議員

市長の公判

問 控訴審第4回公判最終弁論の所見は。

答 一審に比べ、1年4カ月と3倍近くも期間を要した控訴審は、7月27日に結審を迎えた。今回の事件の特異性を踏まえた充実した審理が行われた結果、私が潔白であることは、一審の段階より一層明白になったと確信している。

問 11月28日に開かれる公判最終結に対する心境、思いは。

答 今までの4回にわたる控訴審公判により、再度、無実が証明されるものと確信しているが、市民の方々に与える不安感や、対外的な影響として、イメージの問題や制約を受けることがあるなど、市政運営に少なからず影響があると感じているので、一日も早い終結を望んでいる。

旧生物工学研究所跡地の土地譲渡

問 (仮)総合医療センターに対する土地譲渡について、土地価格の鑑定方法と土地の取得費や造成費等を含む譲渡価格の総額は。

答 不動産鑑定士に評価を依頼し、一団の土地として利用した場合の適正な価格を求めるが、現在までに要した支出は、取得費、造成費、雨水排水工事、給水管工事と未払い費用も含めて約13億3千万円である。

譲渡方法は検討中であり、譲渡価格についても決まっていない。



用地視察の様子

新年度予算編成

問 来年度の予算編成の基本的な考えは。

答 地方創生を進める観点から、地方創生総合戦略計画「カミノー」に掲げる取り組みを推進するとともに、これまでの「もっと教育」「もっと活力」「もっと安心」「もっと交流」に「創生」を加えた5点に重点を置きながら、第5次総合計画に掲げる諸施策を実施することで、持続的で魅力あふれる地域を目指していきたい。

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



日置 祥子
議 員

**介護保険
(介護保険料と介護サービス)**

問 第6期介護保険料について、各段階の割合は、負担能力に応じたものであると認識しているか。

答 負担能力に応じた負担を求めるといふ制度の考えに沿ったものであり、負担能力に応じたものであると認識している。

問 保険料について、第16段階(所得1千万円以上)の該当者数と、その最高額は。

答 今年度の第1号被保険者1万2,437人のうち、第16段階は126人で、そのうち所得の最高額は、1億3,100万円である。

問 負担能力に応じてと言われるが、第5段階の80万円所得者(基準額になる人)の負担率は7.8%であるのに対して、富裕層である所得2千万円の所得者は0.6%であり、最高額所得者の負担率は0.1%である。どうしてそのような事が言えるのか。金額に応じてサービスするというのなら、社会保障でなく、企業保険である。介護保険は、

社会保障という立場でしっかりとみていかなければいけない。

答 所得の段階に応じて、基準額に対する割合を高くしており、介護サービスは基準額の低い人も高い人も同じサービスをしている。

問 2018年度に向けて削減されるサービスに対して、市として独自の対策は。

答 現在、厚生労働省の社会保障審議会の介護保険部会において、要介護2以下の軽度者への支援の在り方について、見直し検討が行われている。市として独自対策はないが、審議会の検討内容を注視していく。

問 国の施策を後追いするのではなく、低所得者対策として、例えば、要介護1、2や、要介護3以上の入所待機者に対して、自己責任とさせず、サービス付き高齢者向け住宅費の家賃補助をするなどの具体的な案を示してほしい。

答 そういうことも含めて、今後検討していく。



介護サービスの様子



佐合 広和
議 員

**飛驒・木曾川国定公園の
環境整備**

問 飛驒川の景観に支障をきたしている竹林等の伐採を関係機関に要望してはどうか。

答 同公園は、小山観音を中心とした、市の重要な観光資源であり、流域の他地域と連携して飛驒・木曾川国定公園連絡協議会を設置し、案内看板の整備等を通じた一体的なPRや活用に努めている。竹林の発生状況なども確認の上、同協議会を通じて、関係機関に伐採等の環境整備を要請していく。

蜂屋柿を通じた市のPR

問 カミーン・アクションプランの項目中の「蜂屋柿にまつわる歴史」について、多角的に情報発信する必要性と包装紙等に歴史と地図を印刷し、観光をPRする考えは。

答 特に堂上蜂屋柿は、贈答用に多く購入される傾向にあり、その歴史や市を紹介するためのツールとしての効果性は高いと思われる。現在は、商品にパンフレットを同封しているが、市の知名度アッ

プに資する内容は、シティアテンダントも含め、多角的な視点から活用方法を検証し、改善していく。

**旧中山道太田宿の
ランドデザイン**

問 地域の活性化には、地元住民の盛り上がりが必要であるが、最終的な姿について、地元と合意形成された目標はあるか。

答 同地域は、特に対外的に市を紹介するうえでのスポットの一つであるという認識を、地元と行政が共有していると考えている。太田宿中山道会館も、地域からの発案に基づき、行政が必要性を認め、建設したもので、その後、地元の方々に管理運営を頑張っていたらいい。

近年では、当地での新たな展開として、姫Bizの相談窓口などを通じて、起業やイベント開催で地域の活性化を図ろうとする若い方など、新たに中山道に対する想いを持つ方も増えてきている。その中で、会館の建設当時の思いを、再確認しつつ、中山道の将来像を、地元の方々と意見の集約や合意を図る時期でもあると感じており、行政として、そういった場を提供しているところである。

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



森

弓子
議員

公園等の整備と遊具の設置

問 さくらの森の花見広場の桜が半分近く枯れており、遊具も少ない。白山展望台の展望も悪くなっているが、再整備の予定は。

答 本年度は、生育の悪い木に関して、土壌改良を行い、生育を促し、来年度以降に桜の補植を考えている。また、遊具及び白山展望台からの展望に関しては、今後検討する。

問 みのかも健康の森の遊具の設置要望が、ここ数年多くなっているが、対応が遅れている理由と今後の予定は。また、古井近隣公園の遊具の改善は。

答 健康の森の遊具設置が進まない理由は、遊歩道の修繕等を優先してきたためである。開園から21年を経過し、施設の老朽化が進み、遊具を数台撤去しているが、年間6万人以上の来場がある重要な公園なので、地方創生推進交付金も活用し、早急に遊具設置を行う。

古井近隣公園については、今年度、タコの滑り台やその他の遊具の塗装修繕を計画したい。

問 公園遊具の安全基準による点



あなたの町のかかりつけ医

検は。

答 点検は、市職員が年2回、専門業者が年1回で行い、公園及び遊具ごとの記録をまとめた報告書の提出があり、公園の台帳も整備している。

市民の健康づくり

問 かかりつけ医の周知と特定健診の状況は。

答 平成26年5月に冊子「あなたの町のかかりつけ医」を全世帯に配布し、身近なかかりつけ医を持つことの必要性や加茂医師会管内の医療機関を紹介した。その後も、チラシでの啓発など、関係機関とも連携しながら周知に努めている。

特定健診については、国保加入者の受診率は29・9%で、受診者2,687人中、異常が認められなかった人は39人、疾病対策の健康教室を受講した人は392人であった。なお、かかりつけ医から地域医療支援病院への紹介率は、昨年度で59・6%になっている。



坂井

知足
議員

選挙当日の「共通投票所」の設置

問 公職選挙法が改正され、選挙当日に既存の投票所のほかに、有権者なら誰でも投票できる「共通投票所」の設置が可能となった。投票率の向上のための今後の取り組みは。

答 共通投票所は、二重投票の危険性等の課題が多くあると認識しているが、有権者の利便性や投票率の向上等が期待できるため、前述の課題解決を前提に設置に向けて検討を進めたい。

産地ブランドの開発と育成

問 新たな美濃加茂ブランドの創造に向け、堂上蜂屋柿や山之上の果実のほかに、産・学・官の連携のもとに、どのような研究開発が進められているか。

答 本市には、米・栗・富有柿など、ブランドになり得る多様な資源があるので、産・学・官の連携のもとに、高付加価値化などの戦略を進めたい。

また、当地のイメージや既存のブランドを活用する手法として、県産米のパッケージにアニメ「のうり

ん」のイラストを活用し、当地を連想させる例もあるので、そのような売り出し方の提案も進めたい。

牧野ふれあい広場（陸上競技場）の整備

問 平成26年度に、基本構想が策定され、多目的広場に陸上競技場が建設されることになっているが、今年7月に県から一部を太陽光発電施設設置の申し出がされたところである。

本市には、今年の全国中学校体育大会の陸上競技で活躍（優勝・6位）した2人の女子中学生がいて、4年後の東京オリンピック出場に期待を寄せている。こういったなかで、陸上競技場の建設はどうなるのか。

答 2人の中学生には、是非とも4年後の東京オリンピックに向けて頑張っていたきたい。

陸上競技場の建設は、県からの太陽光発電施設設置の申し出はあるが、市のスポーツ推進計画にも掲げている重要な事業であり、彼女らに続くアスリート育成のためにも推進していく。



現在の牧野ふれあい広場

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



金井 文敏
議員

被災者台帳(被災者支援システム)の運用状況

問 被災者台帳の先進事例の一つとして取り上げられている「被災者支援システム」は、1995

年の阪神・淡路大震災で壊滅的な被害を受けた兵庫県西宮市が独自で開発したシステムで、本市でも既に導入されている。システムの最大の特徴は、家屋被害でなく、被災者を中心に据えている点である。住民基本台帳のデータを基に被災者台帳を作成し、り災証明書の発行、支援金や義援金の交付、救済物資の管理、仮設住宅の入退去など被災者支援に必要な情報を一元で管理され、被災者支援業務の正確性及び公平性を図ることができる。

他方、 昨年の広島土砂災害や今般の熊本地震においても、システムが導入されていたにもかかわらず、導入後の運用が適切になされていないため、いざというときに十分使えなかった事例も発生している。

本市の同システムの運用状況は。

答 システム運用に関する研修は行っていない。公開されているシステムを最新のものに行っている。できるだけ早くできることから活用していけるように、研修を含めて準備していく。

連絡所での紙資源回収の事業化

問 地区ごとに連絡所があるの

で、各連絡所で紙資源を回収できないか。最近は大手スーパーや無人での紙資源回収が行われている。紙資源のリサイクルへの考え方が市民に広がったことと、ダンボール等は家に置いておくにはかさ張るため、早く処分したいとの気持ちから便利に活用されている。過去に私が提案し、中部台にて試験的に資源回収を行ったところ、大変好評だった。可燃ごみの減量推進と紙資源リサイクルの考えは。

答 回収コンテナの設置スペースの確保や管理上の問題から困難である。現在、市内に回収場所が20箇所あるため、分別に関しては地域住民の皆さんにリサイクルという意識を持っていただくことを重視したい。



酒向 信幸
議員

小規模特認校制度

問 今年度に入り、説明会や三和

小学校・伊深小学校の体験入学等の開催に参加された方もあった。9月15日から受付開始となるが、市民の理解度、関心度は。

答 5月に3日間開催した説明会に、保護者20人・児童6人の参加があった。この説明会の開催にあたり、小学校と公立保育園の保護者に、案内文書を配布したほか、私立保育園、幼稚園の保護者総会において、制度の説明を行った。また、6月と7月には、伊深小学校と三和小学校のほほえみ参観日などを利用し、7組の児童・保護者の方に学校を見学していただいた。対象となる平成29年度の新1年生から新5年生の児童・保護者には、ある程度、小規模特認校制度の理解と関心をいただいているものと考えている。

9月15日から正式に利用申請受付を開始したが、今後も、対象となる児童・保護者への申請受付のお知らせを行うとともに、広報やCNetを利用し、市民の皆様への制度のPRをしていきたいと考えている。

問 来年度に向けての必要な取り組みと、各学校整備や支援に関するの考えは。

答 2校の特色ある教育活動に魅力を感じて趣旨に賛同し、この学校で学びたい、学ばせたいという児童と保護者に、小規模特認校制度を利用していただきたいと考えている。

教育委員会事務局、各小学校長と利用申請をされた児童・保護者の面談を行い、通学に関する諸条件を満たすことや、その児童にとって小規模特認校に通学することが本当に良いことなのかなどを確認し、制度の利用を承認することとしている。

小規模特認校を利用される児童の人数や一人ひとりの状況に応じて、各校の施設や設備、教職員の配置など必要な準備を進めていく。



小規模特認校制度の説明会(三和小学校)

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



前田 孝員
議員

ふるさと納税の現状と今後の対策

問 昨年度の納税金額、件数、返戻金額は。

答 寄附金額は2億4,245万円、寄附件数は8,483件、返戻金額は1億181万円であった。

問 他自治体への財源流出額と受け入れ額との収支状況は。

答 他自治体への寄附の税額控除額は、1,336万円で、本市に対する寄附金額は、2億4,245万円であり、2億2,900万円の赤字となっている。

防災行政無線受信機
全戸設置の現状と計画

問 情報伝達システム整備の調査について、どこまで進んでいるのか。

答 7月13日に「280MHz防災ラジオ整備事業実施設計業務」として契約締結した。主な業務は、防災ラジオにおける電波の伝搬調査や導入する場合における既設システムとの連携等があり、9月中の業務完了を見込んでいます。

問 今後、戸別受信機設置までの計画は、どのように進められるか。

答 防災ラジオは、現在の戸別受信機に代わるものとして認識しているが、財政負担が大きな課題であり、また、保守管理も含めたシステム全体の費用と効果を精査する必要があるので、業務報告書を確認して判断していく。

旧生物工学研究所跡地問題の
現状と今後の課題

問 不動産鑑定評価や売却用地面積のための分筆は終了したのか。また、造成工事完了後の測量面積及び筆数は。

答 昨年度末の造成工事完了後、測量作業を行い、不動産鑑定も終え、譲渡対象面積を確定した。市が管理すべき道路などの土地を除くと、9筆で面積は8万5,732.44㎡になる。

問 売却について、どのような方法で行うのか。

答 明確な根拠に基づいて適正な方法、適正な金額で売却を進めたい。売却に向けて、その手法等について内部協議を進めているところである。

問 以前、随意契約やプロポーザル方式での公募もあると答弁があったが。

答 そのように答弁した。



牧田 秀憲
議員

美濃加茂サービスエリアの現状

問 (株)ファームが民事再生法の適用を申請されたが、同社と市が第3セクターで経営している(株)美濃加茂ファーム及び現在の美濃加茂サービスエリアの現状は。

答 (株)ファーム並びに関連1社は、6月6日に裁判所から再生手続開始が決定され、負債総額は2社合計で、約58億円であった。(株)美濃加茂ファーム及びサービスエリアは、現時点では自力運営可能と判断されており、これまでどおりの運営及び従業員の雇用は継続される方針とのことであるが、今後、(株)ファームの新たなスポンサー、再生計画の内容、経営陣や経営方針が判明していく中で、(株)美濃加茂ファームと協議していく。

問 (株)美濃加茂ファームとの今後の予定は。

答 これまでの現場運営の連携は、うまくいっていない面もあったが、現在は、商品の陳列方法、市内業者の紹介など、要望、意見交換等を行っている。東海環状自動車道の多くの利用者が滞留し、

商業面でも市や地域の玄関口としてPR面にも大きな効果が期待できる施設であるので、今後もより一層連携し、活用に努めていく。



美濃加茂サービスエリア

多文化共生

問 多くの団体が取り組みを行っているが、現在の行政の取り組みは。

答 英語・ポルトガル語版の広報紙の毎月発行や、市ホームページに翻訳機能を設置するなどしている。また、庁内に通訳配置も行っているが、より理解しあい共生するには、生活講座や日本語講座を充実するなど、文化や習慣の違いを認識したうえで日本人との交流する場を増やし、多くの外国籍市民の方々が地域に貢献するなど、互いになくてはならない存在になっていくことが必要と考える。

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



柘植 宏一
議員

公共施設等総合管理計画

問 計画素案における優先対処方針の対象に含まれている下古井交流センターは、一次避難所として、また下古井地域の自治会活動の拠点としても重要な役割を担っているが、耐震診断も行われない中で、継続的に使用されていく。地震災害対策としても、早急な対応が必要と考えるがどうか。

答 下古井交流センターは、周辺民家への被害も発生しかねない状況にある。周辺公共施設との複合化も含め、具体的に計画を進めていきたい。



下古井交流センター

(仮)総合医療センター整備事業

問 進捗状況については、分筆、地目変更、不動産鑑定が終了し、今後の進め方について、内部で協議しているとのことであるが、譲渡方法と売却価格のどちらが課題となっているのか。

答 社会医療法人は、あくまで民間事業者であるので、随意契約とする明確な根拠と説明責任が伴う。現在、随意契約か公募かを内部で議論している。

売却価格については、費用の積み上げ方式による価格と不動産鑑定による価格のうち、高い方を想定している。

問 地方自治法施行令167条2第1項2号で「その性質又は目的が競争入札に適しないもの」とについては、随意契約とすることができ(公的あるいは民間を問わない)とされている。岐阜県と調整協議を更に進め、随意契約で売却することが市のためになると考えるが、市長の考えは。

答 岐阜県の中での位置づけをしっかりと理解しながら、市民の方々に納得いただける形で進めたい。



片桐 美良
議員

かわまちづくり事業

問 昨年度までの事業費及び今後事業予算とスケジュールは。

答 昨年度までの事業費は、合計2億3,120万円である。(国の補助金9,570万円、市債・一般財源1億3,550万円)今年度の事業費は、約2億6,800万円。自然体験学習習館、中山道会館南の堤防道路の休憩用東屋周辺の環境整備、時計塔の設置を予定している。平成30年度は、900万円。木の伐採などを予定している。

問 水辺利用計画の進捗状況は。

答 ポート・カヌー体験などアウトドアスポーツをこれからも続けていきたい。その他のイベントについては、行政と民間協働で考えていく。

問 中之島公園に予定しているバーベキュー広場を、オーストラリア式から健康の森とも競争する日本式に変更した理由は。

答 市民からも意見を聞き再考した結果、日本式とした。手ぶらでバーベキューが楽しめる広場を目指している。

小型無人機「ドローン」活用研究

問 ドローン本体は貸与されるが、付属の搭載機材も貸与されるか。

答 今回貸与される機種は、撮影専用である。他の活用を考えると別機種や付属機材の購入を検討していきたい。



ドローン包括連携協定締結式の様子

問 市は購入する前に撮影以外の実証実験が必要と考えているが、別機種のデモフライトだけでも、協定した法人(DJ-ジヤパン)にお願いできないか。

答 できる限り要求していく。

農地課税強化

問 農地として再生不可能と判断された場合は、課税強化されないが、その基準は。

答 森林の様相を呈している、農地復元が著しく困難なもの、周囲の状況から復元しても継続して利用できないと見込まれるものは再生不可能と判断される。

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



高井 厚 議員

非常時に備えた水対策

問 渇水や洪水は、私たちの生活に直接影響し、混乱や被害を引き起こす。水害時に3日も1週間も断水が続くことが報道されている。水害に関する防災や減災に向けて、安心や安全の確保から伺う。配水車は足りるのか。

答 上下水道課が保有するトラックは3台あり、不足する場合は、日本水道協会へ応援要請し、必要台数を確保する。

問 応急給水用ろ過装置が6基あるが十分か。

答 市内5つの配水池で確保できる水道水は、約5,900トンであり、1日一人当たり3リットルを飲料水として使用した場合、適切な管理を行えば、約1カ月分は継続して提供できる。配水池の水は、森山及び山之上浄水施設で浄水されている。

ろ水・浄水装置による水の確保は十分ではないが、不足分を補うものとして活用していく。浄化した水は、水質検査も行っており、水質に問題はない。
また、これらの装置を各地での防

災訓練に貸出すことは可能である。

問 井戸水を利用する考えは。

答 飲料水である以上、安心・安全であることが前提である。熊本地震の被災地でも「被災した井戸については、水質の変化の可能性があるので、衛生確認するまでは飲まないでください。」との注意喚起がされていた。飲料水としての利用は考えていないが、災害時には貴重な水であるので、地域活動や生活用水として利用してほしい。

問 避難所の入浴用やトイレ用の水は。

答 現在、市民の1日当たりの使用水量は、約1万6千トンである。熊本地震の避難所では、仮設のシャワー室や簡易トイレが設置されていた。被災時には、本市でも同様の状況となると考えている。

問 蜂屋川浚渫の早期完了に向けての取り組みは。

答 県は、土木事務所管内の重要度の高いところから予算の範囲で作業をしている。市からも適切な維持作業の実施を要望していく。

議 会 日 誌 (主なもの)

9月		8月	
27日	新庁舎建設特別委員会	2日	予算決算特別委員会
23日	第70回全国レクリエーション大会 in岐阜総合開会式(岐阜市)	3日	四線促進期成同盟会総会(可見市)
21日	市社会福祉協議会理事会・ 共同募金会市支会理事会	5日	高山本線強化促進同盟会定期総会 (高山市)
1日	市議会第3回定例会(27日閉会) 各務原浄化センター供用開始 25周年記念式典(各務原市)	6日	おん祭MINOKAMO2016 夏の陣
30日	議会議事委員会	7日	あじさいまつり写真コンクール表彰式 市スポーツ少年団大会 県消防操法大会(多治見市)
27日	坪内道遙大賞授賞式及び記念式典 議会議事委員会	8日	洞戸川辺間主要地方道・県道 上野関線改良整備促進期成同盟会 まちづくり特別委員会
26日	名濃バイパス期成同盟会総会 (小牧市)	9日	国道41号美濃加茂・下呂間強靱化 推進同盟会定期総会(七宗町)
25日	予算決算特別委員会	19日	国民健康保険連運協議会会長連絡 協議会(岐阜市)
20日	市議会第1回臨時会	17日	議会議事委員会 議会改革特別委員会
21日	山手小学校南舎増築工事起工式	16日	おん祭MINOKAMO2016 秋の陣
22日	市社会福祉大会 普通科連隊レンジャー部隊激励慰問 (七宗町)	9日	川辺町合併60周年記念式典
23日	親子ふれあい運動会	8日	市戦没者追悼式・平和祈念式典
26日	県社会福祉大会(岐阜市)	7日	議会議事委員会
27日	文教民生常任委員会協議会	6日	予算決算特別委員会 事業評価提言
28日	企画建設常任委員会協議会 美濃加茂商工会議所臨時総会 全国環境連大会(岐阜市)	4日	予算決算特別委員会
31日		1日	白川町合併60周年記念式典
		30日	議会議事委員会 予算決算特別委員会
		29日	議会議事委員会 予算決算特別委員会

活動
ピックアップ

議会による事業評価を行い、
11事業について市へ提言しました。

市議会では、本年度から「予算決算特別委員会」を設置し、予算と決算の総合的・一体的な審査を行うことにより、議会としてのチェック機能を強化することとしました。

その取り組みのひとつとして、市の各事業がどのように行われているのか、目標への達成度や決算状況等を参考に評価を実施しました。

委員会は、7月から調査を開始し、各委員が第5次総合計画に基づく220事業の中からそれぞれ5事業を拾い上げた後、2つの分科会に分かれ、各事業の精査を行いました。

精査した各分科会20事業、全40事業について、担当部署から詳細説明を受けた後、各委員は、所属する分科会が抽出した20事業に対する評価調書を提出。その中の5事業を、自身が考える提言対象として分科会に提案しました。

分科会では、2日間にわたる討議の後、両分科会合わせて11事業について提言案をまとめ、全体会で内容を最終確認し、10月6日に市長へ提言書を提出。平成29年度予算編成及び各事業の取り組みに反映することを求めました。



〈 提言の概要 〉

事業名	評価	提言の主な内容
企業工業振興事業	改善	新たな企業誘致への取り組み 企業と地元の交流を深める機会の確保と住みやすい環境整備の推進 進出企業の従業員へのフォローアップ
有害鳥獣捕獲対策事業	拡大	近隣市町や地域・民間との連携 猟友会への新規入会と活動に対する補助の拡充 ドローンの有効活用
一般道路改修事業	拡大	自治会要望に対する予算増額
ホームページ事業	改善	もっと分かりやすいホームページに再改修 公共施設に情報提供設備を常設
地域情報放送事業(定住)	改善	事業者企業努力を求める 費用対効果の検証により現状を把握して改善
地域防災力強化事業	改善	自治会単位による個別訓練の支援 消防団員確保に対する地域の理解を深める 災害弱者に対する地域ぐるみでの対応強化
自治会活動推進事業	改善	市民アンケートによる自治会加入満足度を成果指標に自治会活動の妥当性を見直し 加入率の算出方法の適正化 各自治会に自治会活動強化推進委員の設置 「自治会にはいろまいか」条例の制定 自治会加入率向上を別事業として推進
MT夢クラブ21活動推進事業	縮小	クラブの在り方やニーズを関係者や有識者を交えた会でよく検討すべき
ゴミ減量推進事業	改善	市民一人当たりのゴミ排出量を指標に「ゴミ減量のまち」宣言 ゴミ減量化やエコバッグ運動等の積極的な情報発信 生ゴミ処理による「たい肥」を市で引き取る仕組みの構築
バス路線対策事業	拡大	バスの増車、毎日走行、走行本数増加 循環線と地方線の見直し等目的地に着くまでの時間短縮の工夫 広告収入・停留所のネーミングライツ等財政負担抑制の工夫
外国人児童生徒就学促進事業(定住)	改善	編入割合ではなく適応率を成果指標に 教室としての環境整備「外国人集住都市会議」による国県への働きかけ強化 のぞみ教室と学校との連携強化

加茂農林高校園芸流通科フラワーアレンジメント部の皆さんにご協力いただきました

第3回定例会の議長席、演壇・質問席の花は、加茂農林高校園芸流通科フラワーアレンジメント部の皆さんにご協力いただきました。

フラワーアレンジメント部の皆さんは、入学式や卒業式のステージ上の盛花の制作等の活動をされており、数々の大会でも入賞されています。

今回は事前に議場へお越しいただき、議会の雰囲気にあわせた花々で素敵に彩っていただきました。



市議会インターネット中継 好評配信中!!

市議会本会議の様子をインターネットで配信しています。議会の開催日にはライブ中継も行っています。パソコン、スマートフォンやタブレット端末でお気軽にご視聴ください。

■美濃加茂市議会 議会中継 アドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/minokamo/>

美濃加茂市議会 議会中継

検索



議会中継

編集後記

今回の定例会から、完全な一問一答方式が導入されました。一般質問を行う質問席も中央に配置され、執行部と対面する形となり、お互いに緊張感のある中での展開となりました。一つ一つの内容を掘り下げて質問し、答弁が返ってくるという点では、分かりやすくよかったと思います。

なお、議会だより「市政一般に対する質問と答弁」のページは、そういった内容を、各議員が各自の責任において編集しています。答弁の内容も、発言者に確認して掲載しています。

これからも市民の皆様へ「市議会だより」を媒体として、少しでも議会を身近に感じていただけるように努めてまいります。

日置 祥子

次の定例会の予定 平成28年市議会第4回定例会

11月29日(火)	初日
12月7日(水)	一般質問
8日(木)	一般質問
9日(金)	質疑
19日(月)	最終日

場所：市役所本庁舎3階 議場

時間：午前9時から(最終日は委員会終了後)

※日程は都合により変更となる場合があります。
詳細は議会事務局までお問い合わせください。

前号実施の「市議会に関するアンケート」では、多くのお声をいただきありがとうございました。いただきましたご意見等は集計後に公開し、今後の議会活動等に活用させていただきます。

また、美濃加茂市議会では、政務活動費(1人当たり 月1万円)を会派ごとに交付し、調査研究等の活動の経費としています。なお、政務活動費の支出状況は、市議会ホームページで公開しています。

次回の議会だよりは、平成29年2月1日を予定しています。ご意見ご感想は、はがき、ファックス、メールにてお寄せください。